

10月・11月は 出雲「神在月」 文化振興月間です



出雲では、旧暦10月(神無月)に、全国から八百万の神々がお集まりになり、人々のさまざまな縁について会議をされることから、「神無月」を「神在月」といいます。

市では、毎年10月・11月を「神在月文化振興月間」と定め、「神在月」を全国に向けて情報発信しています。また、この期間中は、市内においてさまざまな催しが行われます。出雲地方だけの「神在月」に、芸術文化やスポーツなどの分野で交流の場を創り、心豊かな出雲文化を全国に発信していきましょう。

※新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、開催を延期または中止する場合があります。

◆市内各地で開催される主な催し

	行事名	開催日時	開催場所	おたずね
10月	第11回日本ジオパーク 全国大会島根半島・宍道湖 中海大会(出雲会場)	3日(日) 10:00~17:00	ビッグハート出雲	第11回日本ジオパーク 全国大会島根半島・宍道湖 中海大会実行委員会事務局 ☎0852-55-5399
	出雲Jr.フィル定期演奏会 第9回 プロムナードコンサート	3日(日) 13:20開場/14:00開演	平田文化館	出雲芸術アカデミー ☎21-6371
	平田美術展	9日(土)9:00~17:00 10日(日)9:00~16:00	平田本陣記念館	雲州平田文化協会(平田文化館内) ☎63-5030
	出雲神楽定期公演 2021	9日(土)・23日(土) 18:00~19:00	日御碕神社拝殿	出雲観光協会 ☎31-9466 ※要予約
	第12回出雲神在月 市民芸術文化の祭典	17日(日) 10:00開演	斐川文化会館	出雲市文化団体連合会事務局 (斐川文化会館内) ☎73-9180
	多伎ウィーク (10月30日~11月7日) ※11/3を「多伎の日」と制定し、 地域振興を図るための様々な イベントを実施	10月31日(日) 11月 3日(水・祝) 6日(土) 7日(日)	道の駅キララ多伎 ほか	多伎元気な会事務局 (多伎行政センター内うみ・やま応援センター) ☎86-3111
11月	第29回 出雲ドーム 2000人の吹奏楽	6日(土) 14:30~17:30(予定)	出雲ドーム	文化スポーツ課 ☎21-6514
	出雲神楽定期公演 2021	6日(土)・27日(土) 17:30~18:30	日御碕神社拝殿	出雲観光協会 ☎31-9466 ※要予約
	ひらたキッチン ~雲州ひらたマルシェ~	7日(日) 10:00~14:00	雲州平田駅横ガレージ	NPO法人プレーパークてんとう虫 ☎31-8802
	出雲新そばまつり (出雲そば旅 11月~ 2月開催)	23日(火・祝) 10:00~15:00	朱鷺会館	神在月出雲そばまつり 実行委員会(観光課) ☎21-6742

このほかの催しについては、市ホームページ内「神在月特設サイト」をご覧ください。

おたずね/縁結び定住課 ☎21-6771

映画「神在月のこども」 10月8日(金)全国ロードショー

全国の神々が出雲に集い、翌年の縁を結ぶ会議を行うという「神在月」のいわれを題材に、神話の地「島根・出雲」をめざして駆ける少女の成長を描く劇場アニメ映画が公開されます！



【ストーリー】

主人公は、現代を生きる、12才の少女カンナ。母の他界で、好きだった走ることが嫌いになってしまったこども。その彼女が、在る月、絶望の淵に母の形見に触れたことで、歯車が廻りはじめる。神無月と書き、全国から神々が姿を消す月を神在月と呼び、神々を迎えてまつる神話の地。島根・出雲、この島国の根と読む場所へ、自分を信じて駆ける少女のものがたり。

【声の出演】

蒔田彩珠／坂本真綾／入野自由／新津ちせ／永瀬莉子／高木渉／茶風林／神谷明／柴咲コウ／井浦新

【主題歌】 「神無-KANNA-」 miwa

【上映劇場(県内)】

T・ジョイ出雲 ☎ 0853-24-6000

松江東宝5 ☎ 0852-28-2100

※上映劇場は変更となる場合があります。
※料金は各上映劇場にお問い合わせください。

出雲市×映画「神在月のこども」 タイアップムービー

出雲市では映画とタイアップしたオリジナルムービーを制作し、公開しています。映画の場面と、実際の出雲市の風景等が織りなす映像を、ぜひご覧ください。

大きな人生の転機に。強く願う時に。
いつでも、何度でも、神々が待つ出雲へ。

神在月のこども タイアップムービー

検索



詳しくは、『神在月のこども』公式サイトをご覧ください。(http://kamiari-kodomo.jp/)
©2021 映画「神在月のこども」製作御縁会



映画「神在月のこども」×「神在月 出雲」ご当地情報

全国から集まる八百万の神々が降り立つ「稲佐の浜」

旧暦10月10日に、全国の八百万の神々をお迎えする浜で、劇中でも登場します。稲佐の浜には地元で「べんてんさん」と親しまれている「弁天島」があり、夕方には、美しい夕景を見ようと大勢の人が訪れます。



出雲が発祥の地といわれる「ぜんざい」

劇中で主人公のカンナも大好きな御神在(おぜんざい)。出雲では神在祭のときに「神在餅(じんざいもち)」を振舞っていました。その「じんざい」が出雲弁で、なまって「ぜんざい」となって、今に伝わったといわれています。